

科目名	資格対策講座 4								年度	2025
英語科目名	Certification Exams 4								学期	通年
学科・学年	ミュージックアーティスト科 2年次	必／選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義	
担当教員	三好敏之	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲家、プロデューサー、ディレクター			
【科目の目的】 ビジネス分野の検定試験に合格するための知識を習得する。その知識を検定試験の対策に活かすと同時に、日本社会の動向に興味を持ち、自身がどのような社会人になるかのビジョンを持つための視点を養う。										
【科目の概要】 学科に関連する資格に対して集中的な対策講座を開催します。										
【到達目標】 A. 当学科が推奨するビジネス分野 1 種類の検定試験に合格する程度の知見を取得する。 B. 検定対策として学んだ知識を、2 年生の学習の場に活かす視座を得る。 C. 日本社会の動向に関心を持ち、卒業後に向けて自分がどのような社会人になってゆくかのビジョンを持つ。										
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル 1 要努力				
到達目標 A	当学科が推奨するビジネス分野 1 種類の検定試験に合格する程度の知見を取得する		当学科が推奨するビジネス分野 1 種類の試験範囲程度の知見を取得する			到達目標Aについてさらなる努力が必要				
到達目標 B	検定対策として学んだ知識を、2 年生後期の学習の場に活かす視座を得る		検定対策として学んだ知識を説明できる			到達目標Bについてさらなる努力が必要				
到達目標 C	日本社会の動向に関心を持ち、卒業後に向けて自分がどのような社会人になってゆくかのビジョンを持つ		卒業後に向けて自分がどのような社会人になってゆくかのビジョンを持つ			到達目標Cについてさらなる努力が必要				
【教科書】 特に無し										
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する										
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、受験時の模擬試験・資格受験結果の報告などを総合的に判定する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

